

岡山県木材加工技術センター試験研究課題事後評価票（結果）

番 号	21-2	期 間	14～20年度	
課題名	木材の耐用年数に関する研究			
評価項目	評 価 の 視 点			評価結果
目標達成度	5：目標を大きく上回って達成した。 4：目標を上回って達成した。（4人） 3：目標どおりに達成した。（2人） 2：目標を下回った。 1：目標を達成できなかった。			4
	【平均 3.67】			
有効性	5：見込みを大きく上回る効果があった。 4：見込みを上回る効果があった。（2人） 3：見込みどおりの効果があった。（4人） 2：見込んだ効果を下回った。 1：効果が得られなかった。			3
	5：当初目的以外に著しい成果が得られた。 4：当初目的以外の成果が得られた。（4人） 3：当初目的以外の成果は特になかった。（2人）			4
	【平均 3.67】			
効率性 ・ 妥当性	5：費用対効果の面で極めて優れていた。 4：費用対効果の面で優れていた。（2人） 3：費用に見合った効果が得られた。（4人） 2：費用対効果の面で問題があった。 1：費用対効果の面で大きな問題があった。			3
	5：計画より大幅に優れた手法等により実施された。 4：計画より優れた手法等により実施された。（2人） 3：概ね計画どおりに実施された。（3人） 2：計画どおりに実施できなかった。（1人） 1：ほとんど計画どおりに実施できなかった。			3
	【平均 3.17】			
成果の活用 ・ 発展性	5：技術移転、実用化等の具体的見込みがあり、新たな展開も具体性がある。（1人） 4：技術移転、実用化等について、今後の発展可能性が高い。（4人） 3：技術移転、実用化等の可能性がある。（1人） 2：技術移転、実用化等に向け今後の取組が必要 1：技術移転、実用化等の見込みが低い。			4
	【平均 4.00】			
総合評価	5：著しい成果が得られた。 4：十分な成果が得られた。（4人） 3：一定の成果が得られた。（2人） 2：見込んだ効果を下回った。 1：成果が得られなかった。			4
	【平均 3.67】			
助言・指摘事項等 地域性を含めた貴重な成果である。例が少ないが、要因系の分析を期待する。 研究が中止されたことは残念であるが、これまでの研究成果の技術移転を望みたい。 腐朽性、耐久性の研究は、今後も重要な研究項目なので、頑張って継続いただきたい。 平成14～34年度の計画が20年度で終了となり、結果を評価するのは難しい。20年度までの研究成果であったため、残念ではあるが今回の評価しかできなかった。				

評価項目：5から1までのいずれかを記入

総合評価：評価項目を総合的に勘案し、5から1までのいずれかを記入

岡山県木材加工技術センター試験研究課題事後評価票（結果）

番 号	21-3	期 間	3 ~ 20 年度
課題名	製材業等の生産技術の向上に関する研究		
評価項目	評 価 の 視 点		評価結果
目標達成度	5 : 目標を大きく上回って達成した。 4 : 目標を上回って達成した。(3人) 3 : 目標どおりに達成した。(3人) 2 : 目標を下回った。 1 : 目標を達成できなかった。 【平均 3.50】		4
有効性	5 : 見込みを大きく上回る効果があった。 4 : 見込みを上回る効果があった。(1人) 3 : 見込みどおりの効果があった。(5人) 2 : 見込んだ効果を下回った。 1 : 効果が得られなかった。 【平均 3.17】		3
	5 : 当初目的以外に著しい成果が得られた。 4 : 当初目的以外の成果が得られた。(5人) 3 : 当初目的以外の成果は特になかった。(1人) 【平均 3.83】		4
効率性 ・ 妥当性	5 : 費用対効果の面で極めて優れていた。 4 : 費用対効果の面で優れていた。(2人) 3 : 費用に見合った効果が得られた。(4人) 2 : 費用対効果の面で問題があった。 1 : 費用対効果の面で大きな問題があった。 【平均 3.33】		3
	5 : 計画より大幅に優れた手法等により実施された。 4 : 計画より優れた手法等により実施された。(1人) 3 : 概ね計画どおりに実施された。(5人) 2 : 計画どおりに実施できなかった。 1 : ほとんど計画どおりに実施できなかった。 【平均 3.17】		3
成果の活用 ・ 発展性	5 : 技術移転、実用化等の具体的見込みがあり、新たな展開も具体性がある。 4 : 技術移転、実用化等について、今後の発展可能性が高い。(2人) 3 : 技術移転、実用化等の可能性がある。(4人) 2 : 技術移転、実用化等に向け今後の取組が必要 1 : 技術移転、実用化等の見込みが低い。 【平均 3.33】		4
総合評価	5 : 著しい成果が得られた。 4 : 十分な成果が得られた。(4人) 3 : 一定の成果が得られた。(2人) 2 : 見込んだ成果を下回った。 1 : 成果が得られなかった。 【平均 3.67】		4
助言・指摘事項等 得られたデータは貴重なものであるが、反面、大きな改善が行われたとは言い難い面もある。さらに分析が必要と思われる。 未成熟材を取り除く方法との関連での研究が欲しい気がする。 J A S 規程の当初の想定外の実態であり、現実的に処理できる仕組みを早く作っていく必要がある。研究機関として尽力いただきたい。			

評価項目：5 から 1 までのいずれかを記入

総合評価：評価項目を総合的に勘案し、5 から 1 までのいずれかを記入